

新型コロナウイルスの基礎知識②

10月号では「新型コロナウイルス」と「鳥インフルエンザ」の関係についてお知らせしました。今回はこれまでの「新型コロナウイルス」の経過と最近の情勢についてお知らせします。

- 大正7年(1918年)…スペインインフルエンザ(H1N1)
- 昭和32年(1957年)…アジアインフルエンザ(H2N2)
- 昭和43年(1968年)…香港インフルエンザ(H3N2)
- 昭和52年(1977年)…ソ連インフルエンザ(H1N1)

これらはいずれも世界的に大流行(パンデミック)し、多くの死亡者が確認されました。例えば、「スペインインフルエンザ(スペインかぜ)」では、全世界で約4,000万人、日本では約39万人が死亡しました。新型コロナウイルスは、10年から40年周期で流行するといわれています。いつ新型コロナウイルスが発生しても、おかしくない状況です。

最近の「新型コロナウイルス」をめぐっての情勢

平成15年にタイ、ベトナム、インドネシアなどの東南アジアにおいて、鳥インフルエンザ(H5N1)がヒトに感染し、うち383人が発症、これまでに241人の死亡者が確認されています。

高齢者インフルエンザ予防接種を実施しています

- ▼対象者=予防接種時に65歳以上の人
- ▼期間=平成20年10月1日(水)から平成21年2月28日(土)
- ▼場所=町内の医療機関のほか小山市、下野市、野木町、宇都宮市の医療機関
- ▼費用=1回のみ自己負担1,000円で受けられます。
- ▼持参するもの=健康保険証、老人健康手帳(持っている人のみ)
- ※現在、接種しているインフルエンザワクチンは「Aソ連型・A香港型・B型」の混合ワクチンです。
- ☎問い合わせ先=健康福祉課 健康増進係 ☎9132

現在ヒト→ヒト感染は確認されていませんが、今後このウイルスが新型コロナウイルスエンザウイルスへと変異し、パンデミックを起こす可能性がでてきています。

▼問い合わせ先 健康福祉課 健康増進係 ☎9132

不審な勧誘に気をつけよう!

にせ上下水道課職員等にご注意!

最近、上下水道課職員や上下水道課から依頼されたとよそあって、上下水道管の有料点検を勧める訪問業者がいますので、ご注意ください。

上下水道課職員による、上下水道管点検は無料です。

緊急以外の点検には、事前にご連絡してから訪問しています。上下水道課職員が訪問する際には、名札や身分証明書を携帯していますので、ご確認ください。上下水道管の工事ができるのは、町の指定工事業者だけです。

上下水道についてのご相談やご質問は、お気軽にお問い合わせください。

- ▼問い合わせ先=
- ☎上下水道課 業務係
- ☎9168

振り込め詐欺にご注意を!

従来から金銭を現金自動受払機で振り込ませる「振り込め詐欺」の被害が問題化していますが、こうした中、国民健康保険や後期高齢者医療を口実とする振り込め詐欺が発生しています。

まず、電話で役場保険課職員を名乗り、「国民健康保険や後期高齢者医療について、還付金がある」との連絡があります。

「まだ、手続きがなされていないので〇〇銀行の〇〇店のATMに行って手続きをしてください。」と言われます。

その他言葉巧みに振込みさせようとしています。役場からは、その様な手続きの仕方の連絡は一切しません。

ですから、「還付金がある」と言われても安易に信用せず、一度電話を切って役場保険課に電話をしていただき確認願います。

役場からは、ATMの操作方法を指示することはありません。自分のキャッシュカードや通帳を使ってATMを操作しても、相手の口座から自分の口座へお金を送金してもらうような手続きをとることは絶対できません。

▼連絡・問い合わせ先=保険課 国保年金係

- ☎9134